

令和2年8月18日

< 報道関係各位 >

業態別の住宅ローン新規貸出額及び貸出残高に関する調査結果 (2020年1-3月期分及び2019年度分)

独立行政法人住宅金融支援機構（本店：東京都文京区後楽1-4-10、理事長：加藤 利男）が実施した業態別の住宅ローン新規貸出額及び貸出残高(2020年1-3月期分及び2019年度分)についてお知らせします。

本調査は、住宅ローン市場の規模を把握するため、当機構（旧住宅金融公庫）が1989年度から日本銀行統計に加え、各業界団体等の協力を得て、取りまとめている業態別の住宅ローン新規貸出額（フロー）及び貸出残高（ストック）に関する調査です。

本調査結果の詳細は、住宅金融支援機構ホームページをご覧ください。

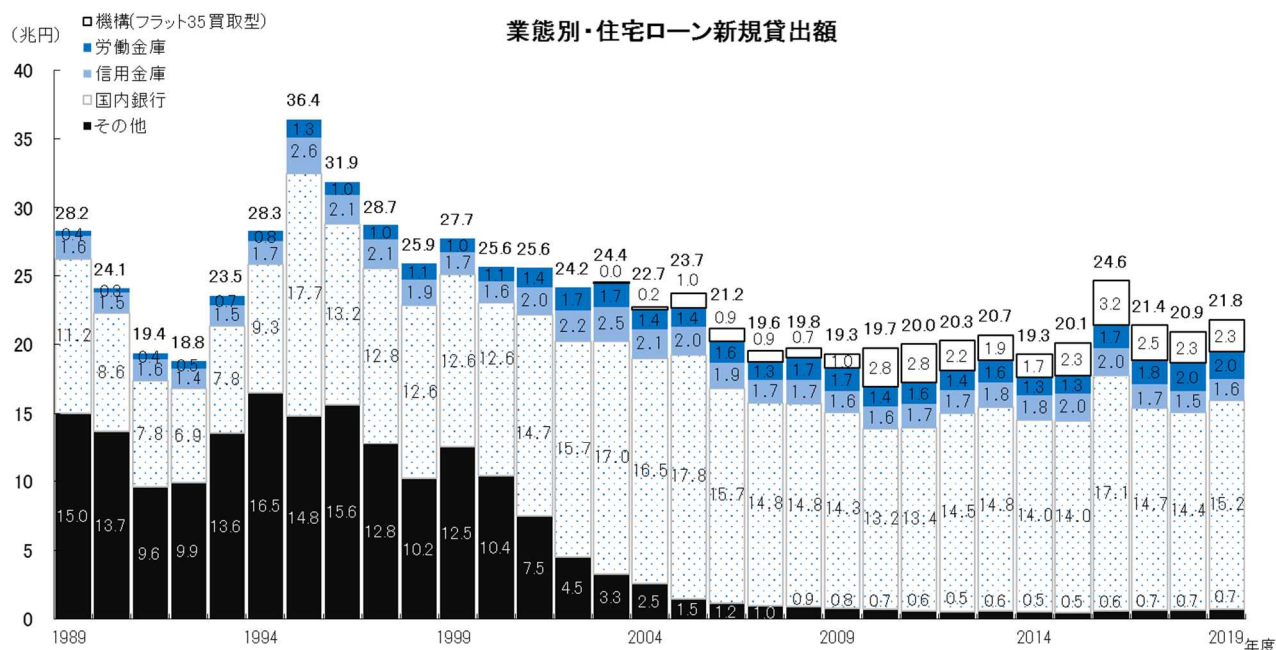
https://www.jhf.go.jp/about/research/loan_zandaka.html

調査結果の主なポイント

< 主な金融機関の住宅ローン新規貸出額（2019年度分） >

○ 2019年度の新規貸出額（借換を含む。）は、**21兆8,117億円と対前年度比で4.2%増加し**、5年連続で20兆円台となりました。

（背景）2018年度後半から2019年度第1四半期にかけて持家の着工が増加したこと等により、住宅ローンの利用額が増加したこと等が考えられます。



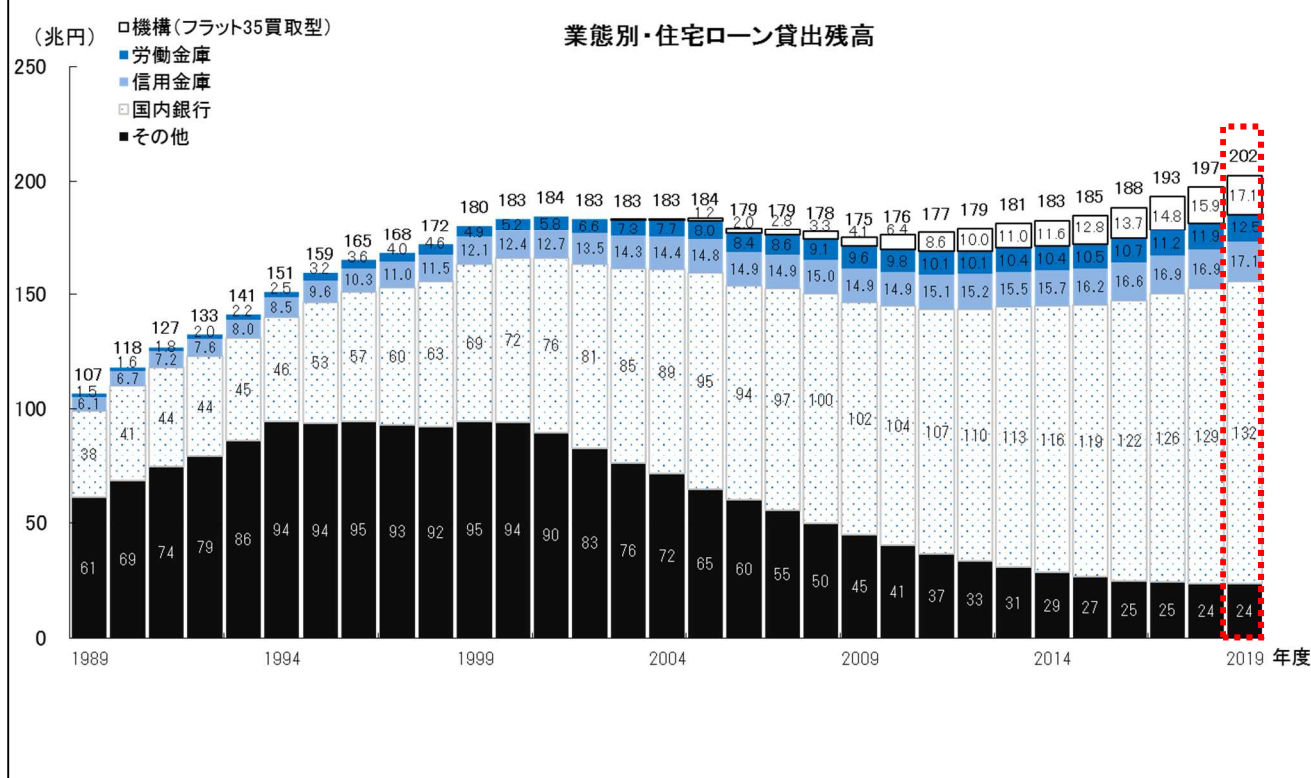
<主な金融機関の住宅ローンの貸出残高（2019年度分）（注）>

○ 2010年度以降増加が続いており、2019年度末では前年度比2.6%増の202兆4,598億円と、**1989年度の調査開始以降、初めて200兆円を超えました。**

（背景）2019年度の新規貸出額が増加したことや住宅ローンの貸出期間が長期化*したことで等が考えられます。

*住宅金融支援機構調査「民間住宅ローンの貸出動向調査」結果による。詳細は https://www.jhf.go.jp/about/research/loan_minkan.html をご参照ください。

（注）集計対象には、オフバランスにした（住宅ローンを証券化し、貸借対照表に計上していない）貸出残高を含まない可能性があります。



〈報道関係者の方からのお問合せ先〉
 経営企画部広報グループ 児玉／井田／永田／池森
 TEL：03-5800-8019

住宅金融支援機構ホームページ <https://www.jhf.go.jp>

(参考)

■住宅金融支援機構が実施している住宅ローン関連調査（令和2年度 公表予定）

〈フラット35利用者に係るデータ分析〉

(1) フラット35利用者調査（8月）

フラット35利用者の属性、資金計画、住宅等について集計・分析

〈インターネットを通じたアンケート調査〉

(2) 住宅ローン利用者の実態調査（6月、9月、12月頃）

住宅ローン利用者の住宅ローン選びに関する意識や行動、住宅ローン利用予定者の住宅取得に関する意識や行動等を調査

(3) 住宅ローン借換の実態調査（9月頃）

住宅ローンの借換を行った方の住宅ローンの金利タイプの変化や借換理由等を調査

〈金融機関へのアンケート調査〉

(4) 民間住宅ローンの貸出動向調査（12月頃）

民間金融機関の住宅ローンの貸出状況、取組姿勢等を調査

〈データ、統計資料等の集計〉

(5) 業態別住宅ローンの新規貸出・残高（5月、8月、10月、1月頃）

金融機関、各業界団体等への照会結果、日銀の統計資料等を集計

※ 今回公表分を下線で示しています。

※ 調査の項目や内容は、変更する場合があります。詳しくはお問合せください。